山口支部健康づくり戦略プランの優先課題

参考資料2

◆ 新生物の一人あたり医療費（入院）が全国平均を上回る

◆ 血圧のリスク保有率が全国平均を上回る

山口支部の優先課題（１）

◆ 新生物の一人あたり医療費（入院）が全国平均を上回る

＜データからみえる課題＞
・新生物の1人あたり医療費（入院）が全国平均を上回る。（令和６年度：14,931円（全国との差：+1,510円、全国順位８位））

・山口県はがん検診の受診率が低く、要治療・要精密検査率が高い。

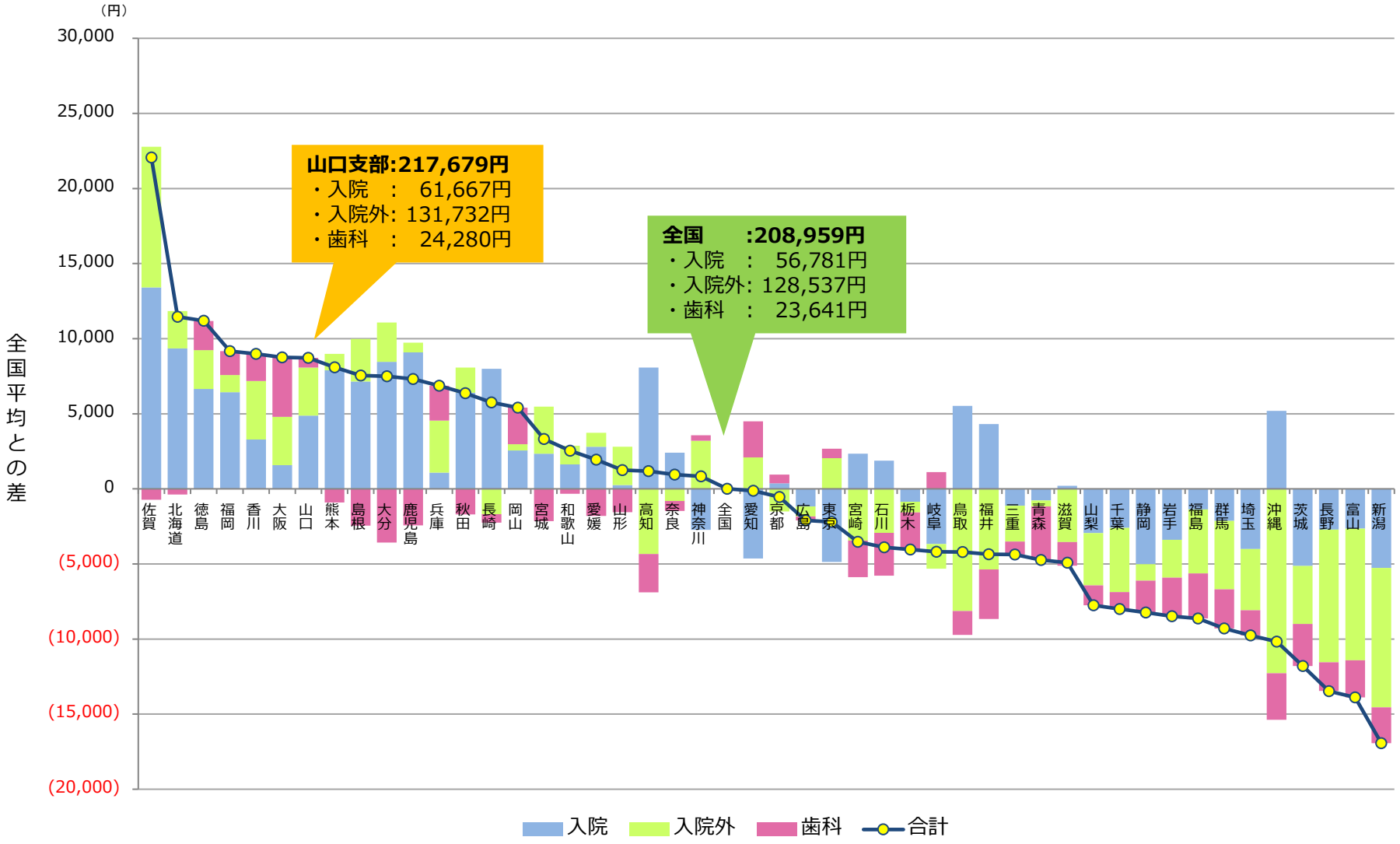
【令和４年国民生活基礎調査】
男性　肺がん：51.6%(37位)、胃がん：44.3%(36位)、大腸がん：43.5%(43位)、
女性　肺がん：39.0%(43位)、胃がん：28.8%(46位)、大腸がん：33.0%(46位)、乳がん34.8%(47位)、子宮がん：34.9%(47位)
※対象（40（20）歳～69歳）、子宮・乳は過去２年間受診率、全国順位は受診率が高い順

【協会けんぽ山口支部の令和７年度生活習慣病予防健診（35歳以上）】
＜がん検診受診率＞
男性　肺がん：58.3%(33位)、胃がん：40.4%(34位)、大腸がん：54.3%(33位)、
女性　肺がん：54.0%(37位)、胃がん：29.5%(38位)、大腸がん：49.6%(37位)、乳がん：23.7%(26位)、子宮頸がん：17.5%(31位)

＜がん検診の要治療・要精密検査率＞
男性　肺がん： 2.4%(9位)、胃がん： 6.3%(5位)、大腸がん： 7.5%(8位)、
女性　肺がん： 1.8%(12位)、胃がん： 4.7%(4位)、大腸がん： 6.3%(6位)、乳がん： 7.6%(5位)、子宮頸がん： 3.1%(27位)
※ ()は全国順位で受診率が高い順
※ 乳がんは40歳以上の偶数年齢女性被保険者、子宮頸がんは20歳以上の偶数年齢女性被保険者が対象

年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（診療種別）の全国比較（令和６年度）

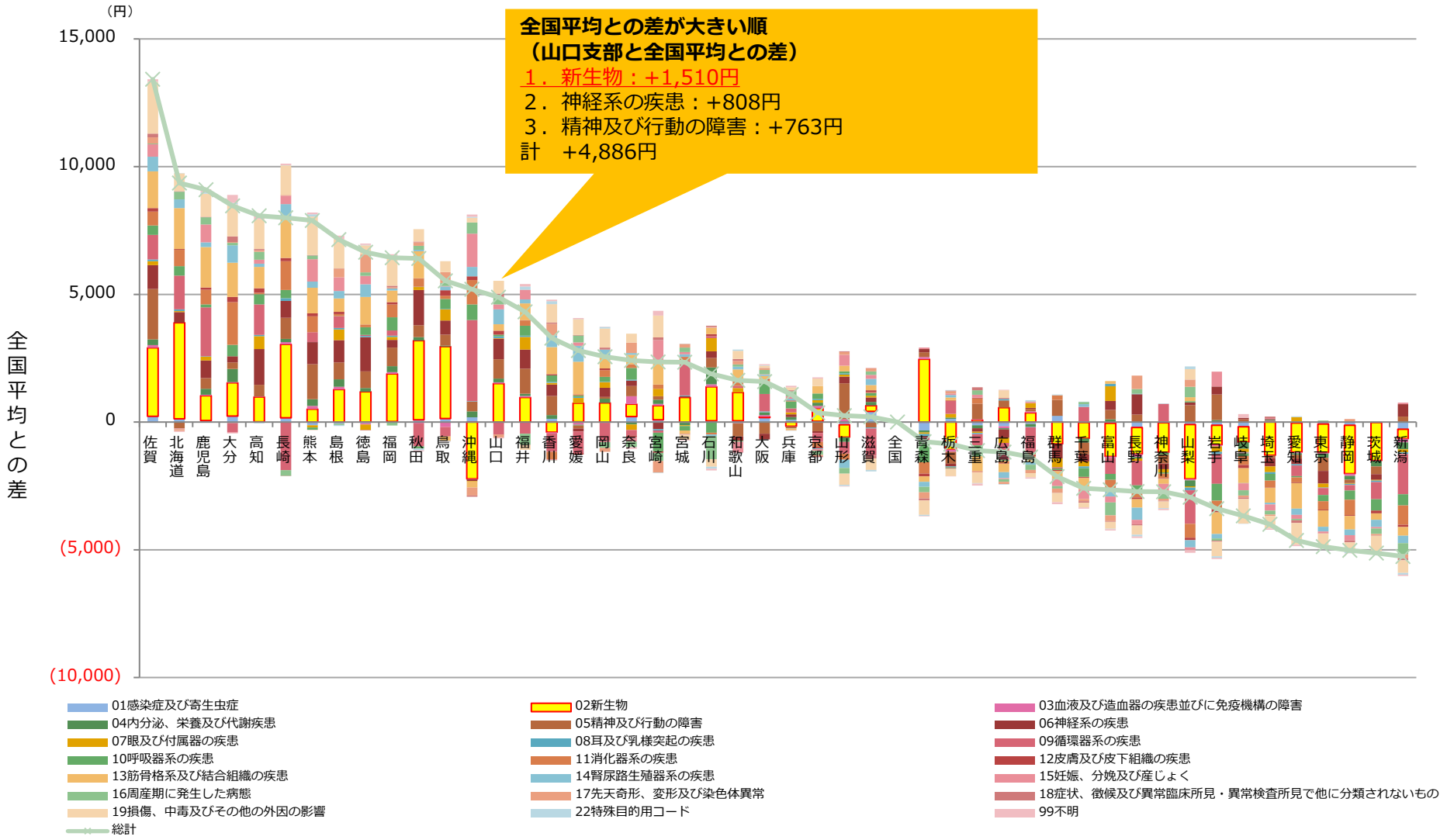
○ 山口支部は全国で**7番目に一人当たり医療費が高い。**（山口支部と全国平均との差：＋8,720円）
○ 診療種別でみると、**入院と入院外が全国平均と比較して高い。**（山口支部と全国平均との差：入院+4,886円、入院外：+3,195円、歯科：+639円）



協会けんぽ

年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（入院・疾病分類別）の全国比較（令和６年度）

○ 入院の疾病分類別１人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、新生物が最も高い。



協会けんぽ

年齢調整後 疾病大分類別 山口支部加入者1人あたり医療費（入院）　（令和6年度）

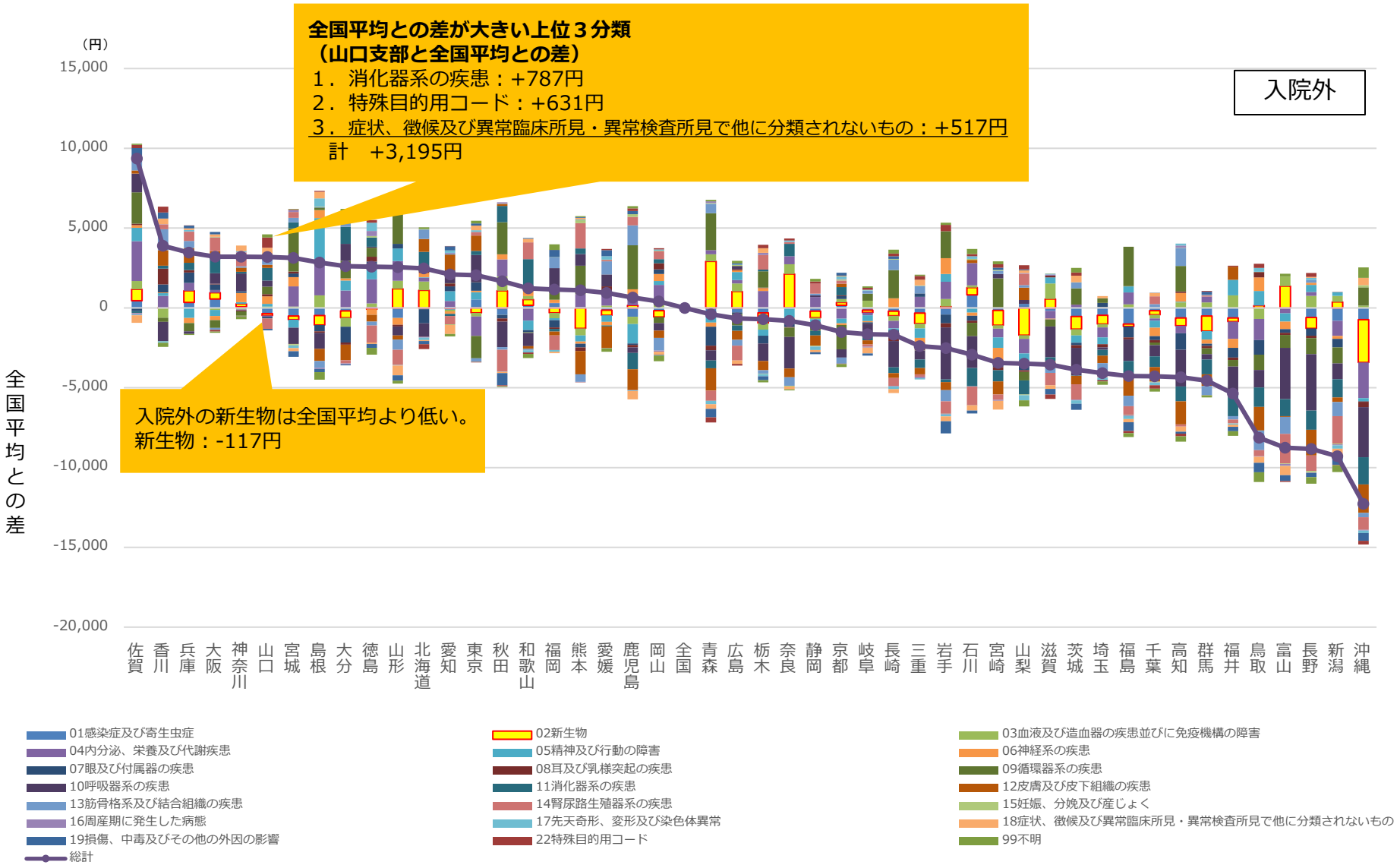
入院

○山口支部加入者一人当たり医療費(多い順)

疾病大分類名	一人当たり医療費（山口支部）(A)	順位	山口支部構成割合	一人当たり医療費（全国）(B)	山口と全国の差 (A)-(B)
02新生物（➢がん、白血病など）	14,931	8	24.2%	13,421	1,510
09循環器系の疾患（➢心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	10,199	33	16.5%	10,671	-471
13筋骨格系及び結合組織の疾患（➢腰痛、脊椎障害、関節症など）	5,168	20	8.4%	4,916	252
19損傷、中毒及びその他の外因の影響（➢骨折、損傷など）	4,759	14	7.7%	4,255	505
11消化器系の疾患（➢肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	4,045	28	6.6%	4,048	-3
06神経系の疾患（➢アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	3,301	7	5.4%	2,493	808
10呼吸器系の疾患（➢かぜ、肺炎、喘息など）	3,028	20	4.9%	2,964	64
14腎尿路生殖器系の疾患（➢腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	2,700	3	4.4%	2,123	577
05精神及び行動の障害（➢精神疾患全般）	2,657	7	4.3%	1,894	763
15妊娠、分娩及び産じょく（➢帝王切開、流産など）	2,216	12	3.6%	2,015	201
16周産期に発生した病態（➢妊娠、胎児発育障害など）	2,043	6	3.3%	1,759	284
04内分泌、栄養及び代謝疾患（➢甲状腺障害、糖尿病、脂質異常症など）	1,266	13	2.1%	1,122	144
17先天奇形、変形及び染色体異常（➢心臓先天奇形、染色体異常など）	1,221	39	2.0%	1,334	-113
07眼及び付属器の疾患（➢白内障、結膜炎など）	1,015	24	1.6%	997	17
01感染症及び寄生虫症（➢ウイルス疾患、結核など）	912	26	1.5%	922	-10
12皮膚及び皮下組織の疾患（➢皮膚炎、湿疹など）	590	4	1.0%	433	157
03血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（➢貧血、免疫障害など）	525	15	0.9%	481	44
18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	450	3	0.7%	319	131
08耳及び乳様突起の疾患（➢メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	352	4	0.6%	282	71
99不明（➢歯科など）	145	31	0.2%	185	-40
22特殊目的用（➢新型コロナなど）	143	26	0.2%	149	-7
総計	61,667	14	100.0%	56,781	4,886

年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（入院外・疾病分類別）の全国比較（令和6年度）

○ 入院外の疾病分類別１人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、消化器系の疾患が最も高い。



年齢調整後 疾病分類別 山口支部加入者1人あたり医療費（入院外） （令和6年度）

入院外

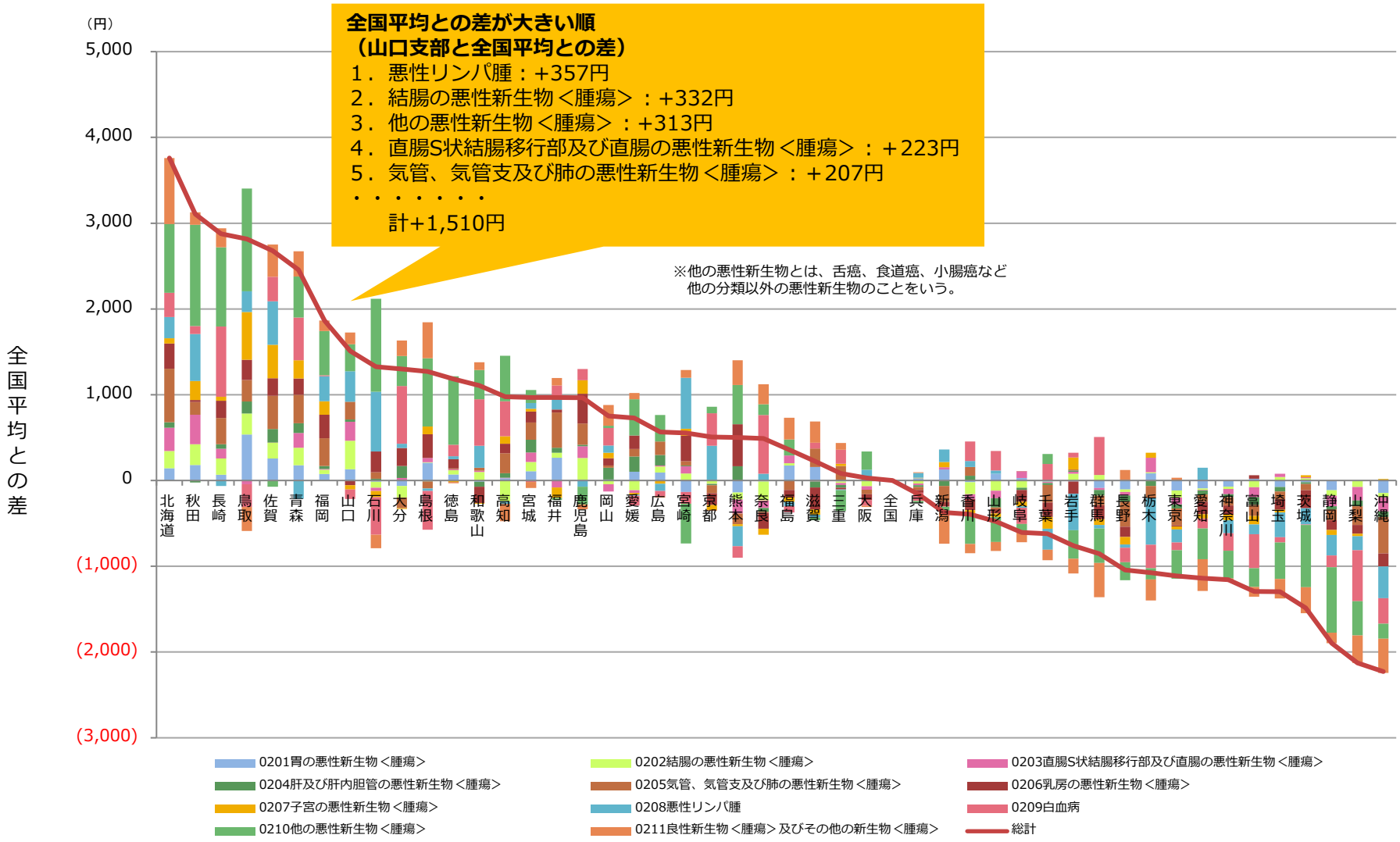
○山口支部加入者一人当たり医療費(多い順)

疾病大分類名	一人当たり医療費（山口支部）（A）	順位	山口支部構成割合	一人当たり医療費（全国）（B）	山口と全国の差 (A)-(B)
10呼吸器系の疾患（➢かぜ、肺炎、喘息など）	18,475	10	14.0%	18,092	383
04内分泌、栄養及び代謝疾患（➢甲状腺障害、糖尿病、脂質異常症など）	14,257	31	10.8%	14,341	-84
09循環器系の疾患（➢心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	13,814	19	10.5%	13,340	474
02新生物（➢がん、白血病など）	13,616	23	10.3%	13,733	-117
13筋骨格系及び結合組織の疾患（➢腰痛、脊椎障害、関節症など）	9,965	10	7.6%	9,491	474
11消化器系の疾患（➢肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	9,006	6	6.8%	8,219	787
12皮膚及び皮下組織の疾患（➢皮膚炎、湿疹など）	8,353	11	6.3%	8,149	204
14腎尿路生殖器系の疾患（➢腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	8,092	34	6.1%	8,751	-659
05精神及び行動の障害（➢精神疾患全般）	6,187	17	4.7%	6,010	177
07眼及び付属器の疾患（➢白内障、結膜炎など）	5,460	20	4.1%	5,561	-101
06神経系の疾患（➢アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	5,407	8	4.1%	4,941	466
01感染症及び寄生虫症（➢ウイルス疾患、結核など）	3,559	31	2.7%	3,915	-356
18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,132	1	2.4%	2,615	517
19損傷、中毒及びその他の外因の影響（➢骨折、損傷など）	3,071	25	2.3%	3,161	-90
03血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（➢貧血、免疫障害など）	2,611	27	2.0%	2,526	85
22特殊目的用（➢新型コロナなど）	2,110	1	1.6%	1,479	631
08耳及び乳様突起の疾患（➢メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,525	9	1.2%	1,389	136
99不明（➢歯科など）	1,296	7	1.0%	1,100	196
17先天奇形、変形及び染色体異常（➢心臓先天奇形、染色体異常など）	1,144	22	0.9%	1,140	4
16周産期に発生した病態（➢妊娠、胎児発育障害など）	376	12	0.3%	348	28
15妊娠、分娩及び産じょく（➢帝王切開、流産など）	277	11	0.2%	236	41
総計	131,732	6	100.0%	128,537	3,195

協会けんぽ

年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（入院・悪性新生物）の全国比較（令和６年度）

○入院の疾病分類別（悪性新生物）１人当たり医療費山口支部と全国平均との差をみると、悪性リンパ腫、結腸の悪性新生物、直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い。



協会けんぽ

年齢調整後 疾病中分類別 山口支部加入者1人あたり医療費（入院） （令和6年度）

入院

○山口支部加入者一人当たり医療費(多い順)

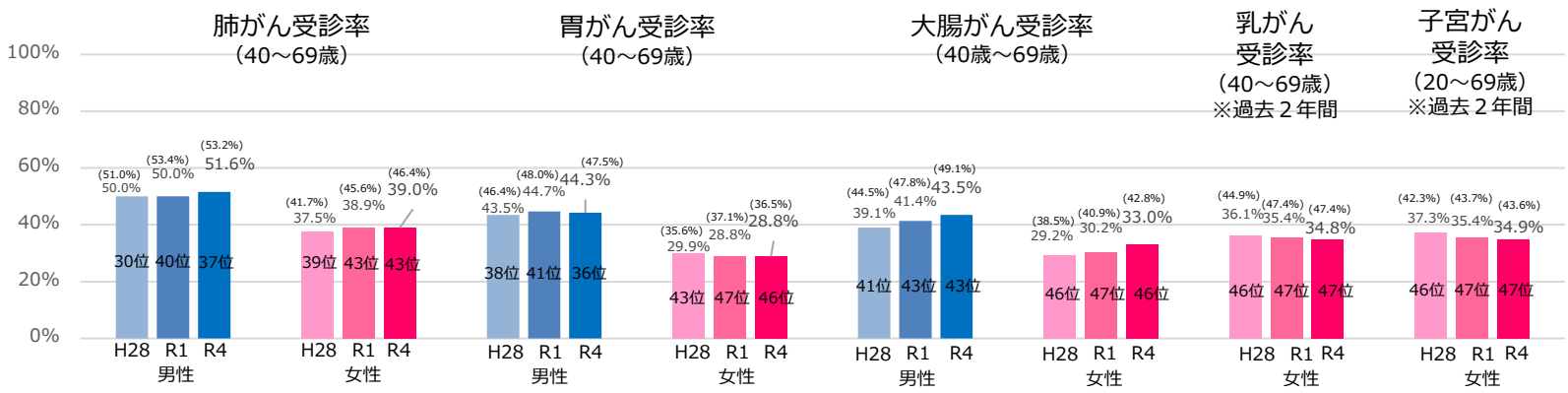
疾病大分類名	一人当たり医療費（山口支部）（A）	順位	山口支部構成割合	一人当たり医療費（全国）（B）	山口と全国の差 (A)-(B)
0201 胃の悪性新生物＜腫瘍＞	666	10	4.5%	536	131
0202 結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	1,093	1	7.3%	762	332
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	900	3	6.0%	677	223
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	291	16	2.0%	267	25
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	1,384	11	9.3%	1,177	207
0206 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	881	28	5.9%	935	-54
0207 子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	505	34	3.4%	556	-51
0208 悪性リンパ腫	1,375	6	9.2%	1,018	357
0209 白血病	1,095	32	7.3%	1,206	-111
0210 他の悪性新生物＜腫瘍＞	4,369	15	29.3%	4,056	313
0211 良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	2,371	13	15.9%	2,232	139
総計	14,931	8	100.0%	13,421	1,510

協会けんぽ

山口県のがん検診受診率 及び 生活習慣病予防健診のがん検診受診率

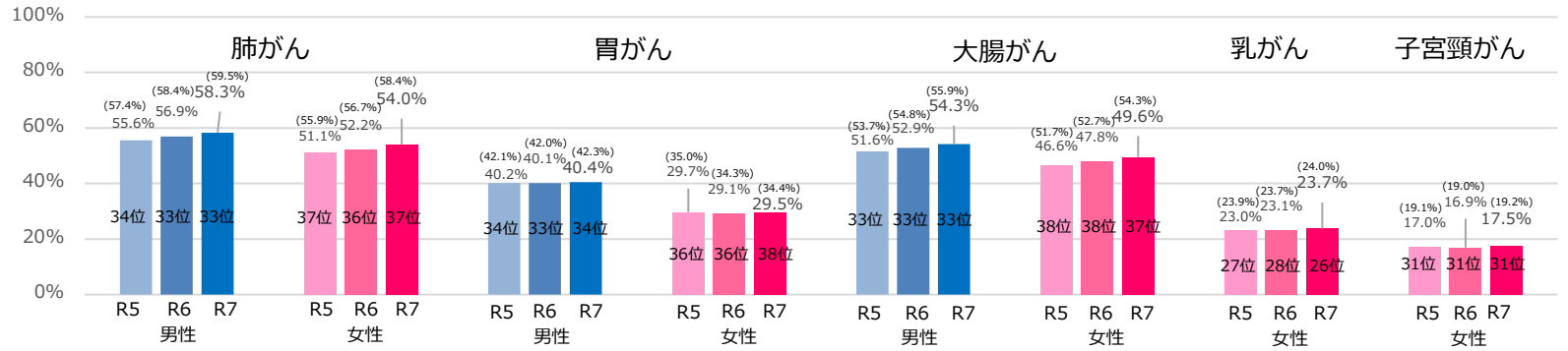
山口県のがん検診受診率

※山口県のホームページより作成（国民生活基礎調査）

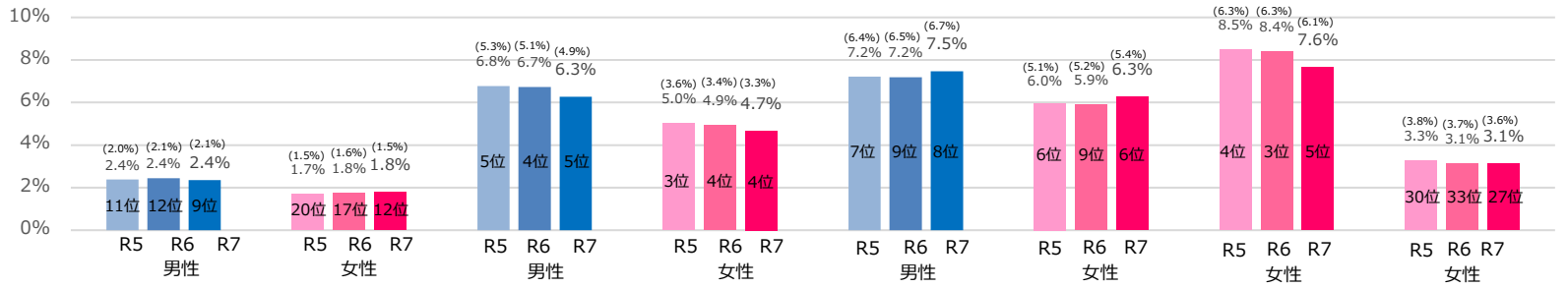


生活習慣病予防健診のがん検診（35歳以上被保険者）

がん検診受診率



要治療・要精密検査率



※がん検診受診率は、協会けんぽが実施する生活習慣病予防健診対象者数（一般健診）に対する各種がん検診受診者数の割合。
※山口県のがん検診受診率と生活習慣病予防健診のがん検診受診率は対象者年齢が異なるため、単純比較ができないことに留意する必要がある。
※受診率等の上に記載しているカッコ内の数値は全国平均の数値。全国順位は受診率等が高い順。

協会けんぽ

山口支部の優先課題（２）

◆ 血圧のリスク保有率が全国平均を上回る

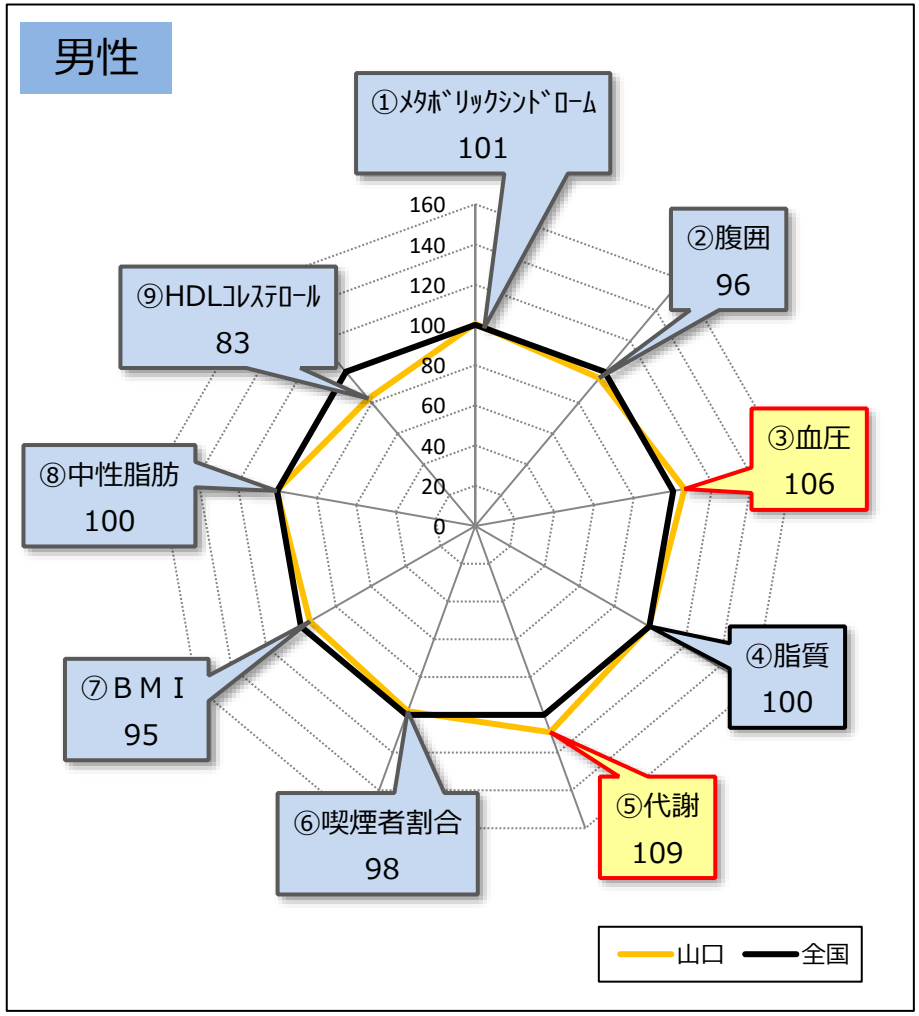
＜データからみえる課題＞
・過去５年間の血圧リスク保有率の推移をみると、男女ともに緩やかに上昇している。
（男性：令和２年度 59.6% → 令和６年度 60.1%、女性：令和２年度 40.7% → 令和６年度 41.9%）
・男女ともに全国平均より高く、すべての年代において全国平均を上回る。
（令和６年度 男性 山口：60.1% 全国57.5% 女性 山口：41.9% 全国：38.5%）
・1人あたり医療費を疾病大分類別にみると「循環器系の疾患」は令和６年度で24,013円と、疾病大分類別にみると３番目に高い。
・第３期データヘルス計画（R６～R11）において、高血圧（収縮期血圧）の平均値の減少を目標として掲げている。

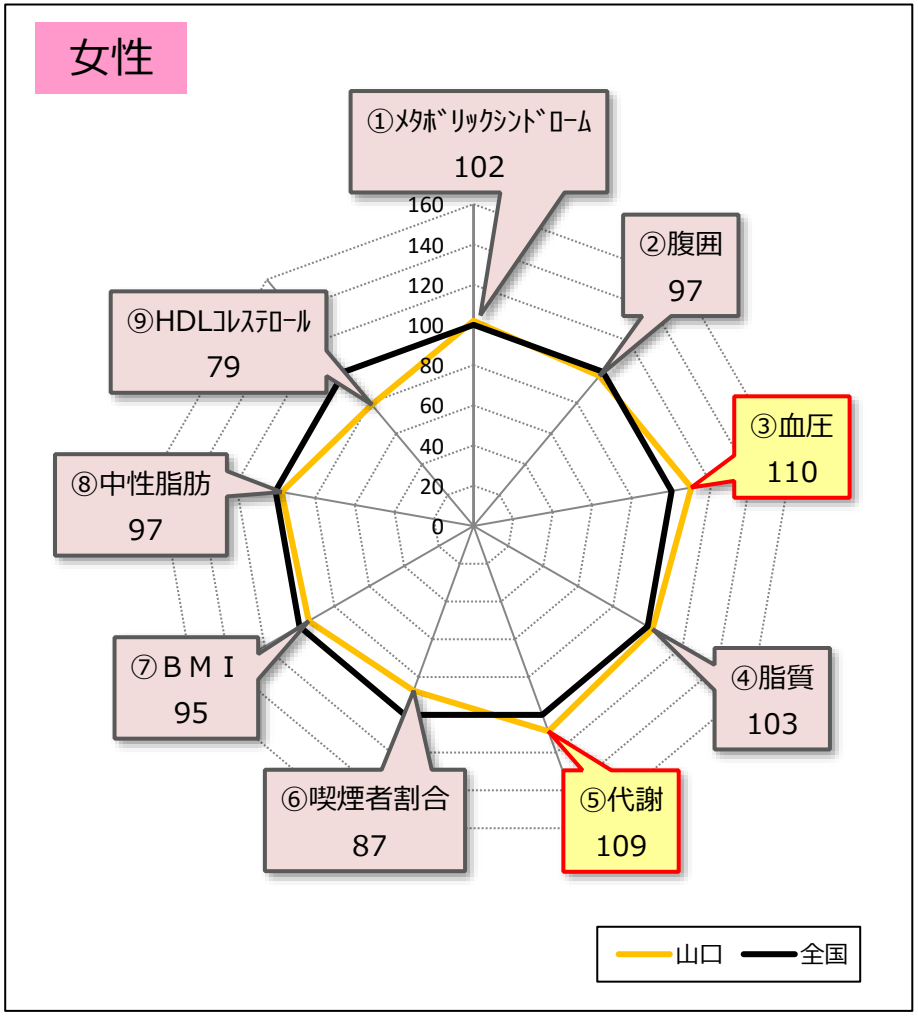
第３期データヘルス計画（R６～R11）
◎ ６年後に達成する目標：高血圧（収縮期血圧）の平均値を３㎜Hg減【令和４年度127㎜Hg→令和11年度124㎜Hg】
経過： 令和４年度：126.9㎜Hg ／ 令和５年度：126.5㎜Hg ／ 令和６年度126.3㎜Hg
（参考）健康日本21 収縮期血圧の平均値 ベースライン値から5㎜Hgの低下（令和６年度→令和14年度）

各種リスク保有率の全国比較（令和４年度）

参考:第3期データヘルス作成時のデータ

○ 健診結果データをもとに全国の各種リスク保有率を100とした場合（下図の黒線）、山口支部加入者の各種リスク保有率は下図の黄色線のとおり。
○ **男女ともに血圧、代謝が高い。**





協会けんぽ

年齢調整後 疾病分類別 山口支部加入者1人あたり医療費（令和４年度

参考:第3期データヘルス作成時のデータ

○ 疾病分類別にみると、**新生物が最も高く、**生活習慣病である**「02新生物」「09循環器系の疾患」「04内分泌、栄養及び代謝疾患」で全体の30%を占めており、**全国と比較しても**山口支部は高い。**

診療種別計（入院、入院外、歯科）

○山口支部加入者一人当たり医療費(多い順)

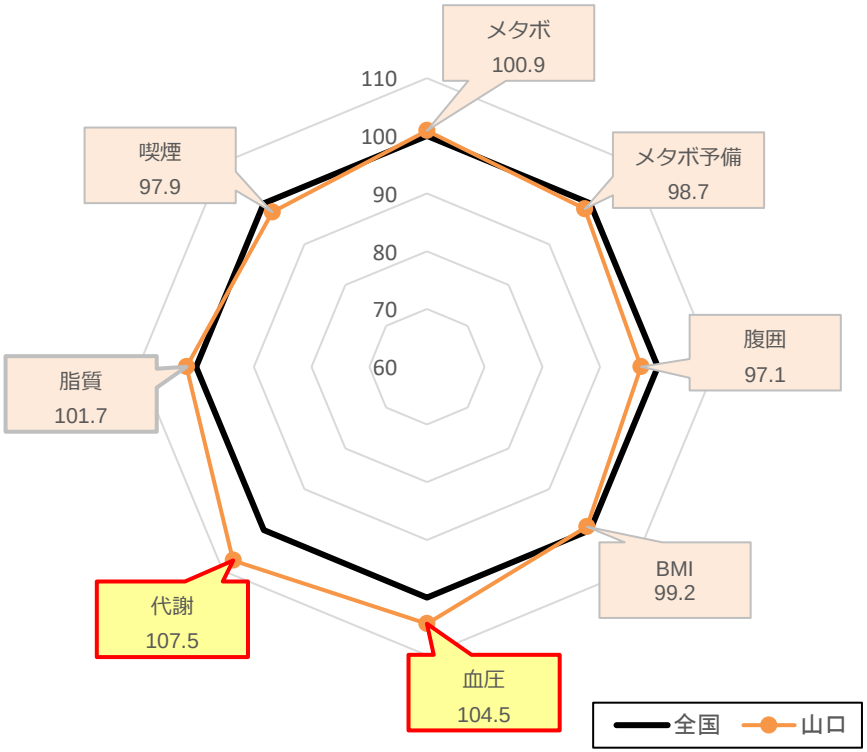
疾病大分類名	一人当たり医療費（山口支部）（A）	順位	山口支部構成割合	一人当たり医療費（全国）（B）	山口と全国の差 (A)-(B)
02新生物（➢がん、白血病など）	26,771	13	12.9%	25,624	1,147
09循環器系の疾患（➢心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	24,084	16	11.6%	23,332	751
99不明（➢歯科など）	23,685	10	11.4%	23,439	245
10呼吸器系の疾患（➢かぜ、肺炎、喘息など）	17,980	12	8.6%	17,696	283
04内分泌、栄養及び代謝疾患（➢甲状腺障害、糖尿病、脂質異常症など）	14,904	24	7.2%	14,798	106
13筋骨格系及び結合組織の疾患（➢腰痛、脊椎障害、関節症など）	14,223	16	6.8%	13,579	644
11消化器系の疾患（➢肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	12,072	11	5.8%	11,470	603
14腎尿路生殖器系の疾患（➢腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	10,451	28	5.0%	10,472	-22
05精神及び行動の障害（➢精神疾患全般）	8,406	11	4.0%	7,633	774
22特殊目的用（➢新型コロナなど）	8,232	7	4.0%	6,917	1,315
12皮膚及び皮下組織の疾患（➢皮膚炎、湿疹など）	7,669	12	3.7%	7,565	105
06神経系の疾患（➢アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	7,438	8	3.6%	6,647	791
19損傷、中毒及びその他の外因の影響（➢骨折、損傷など）	7,302	16	3.5%	6,848	454
07眼及び付属器の疾患（➢白内障、結膜炎など）	6,312	20	3.0%	6,271	41
01感染症及び寄生虫症（➢ウイルス疾患、結核など）	4,216	36	2.0%	4,739	-523
18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,733	1	1.8%	3,064	669
16周産期に発生した病態（➢妊娠、胎児発育障害など）	2,421	8	1.2%	2,108	314
15妊娠、分娩及び産じょく（➢帝王切開、流産など）	2,292	27	1.1%	2,300	-8
03血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（➢貧血、免疫障害など）	2,248	44	1.1%	2,671	-423
17先天奇形、変形及び染色体異常（➢心臓先天奇形、染色体異常など）	1,864	47	0.9%	2,238	-374
08耳及び乳様突起の疾患（➢メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,728	8	0.8%	1,542	185
計	208,032	11	100.0%	200,954	7,078

協会けんぽ

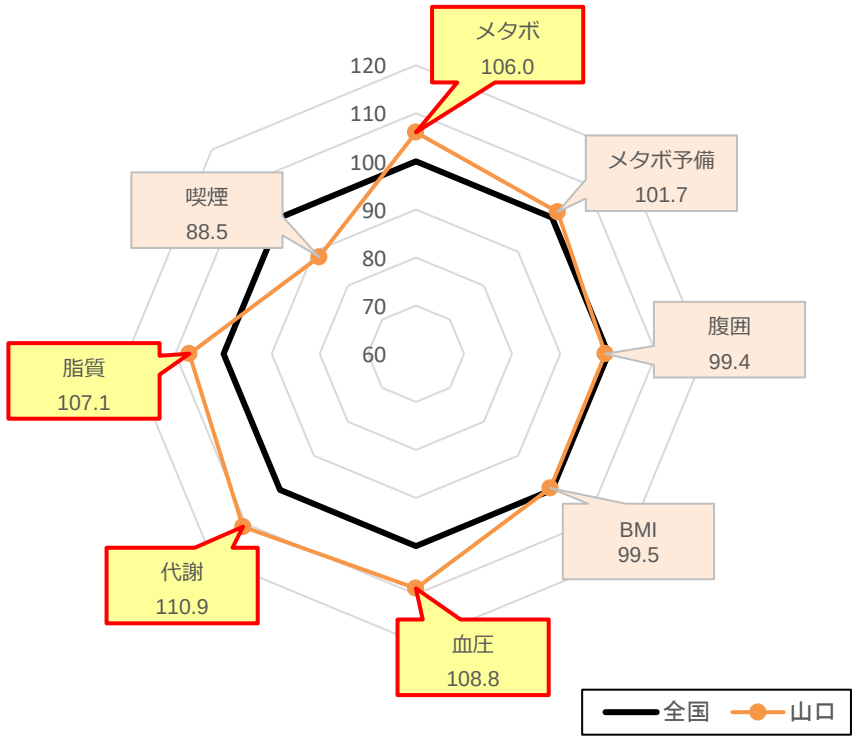
各種リスク保有率の全国比較（令和６年度）

○ 健診結果データをもとに全国の各種リスク保有率を100とした場合（下図の黒線）、山口支部加入者の各種リスク保有率は下図の黄色線のとおり。
○ **男女ともに血圧、代謝のリスク保有率が高い。**

男性



女性



※特定健診・特定保健指導データ分析報告より集計。
※順位はリスク保有率が高い順。

協会けんぽ

年齢調整後 疾病分類別 山口支部加入者1人あたり医療費（令和６年度）

○ 疾病分類別にみると、**「02新生物」「09循環器系の疾患」の一人当たり医療費が高く、**全国と比較しても**山口支部は高い。**

○山口支部加入者一人当たり医療費(多い順)

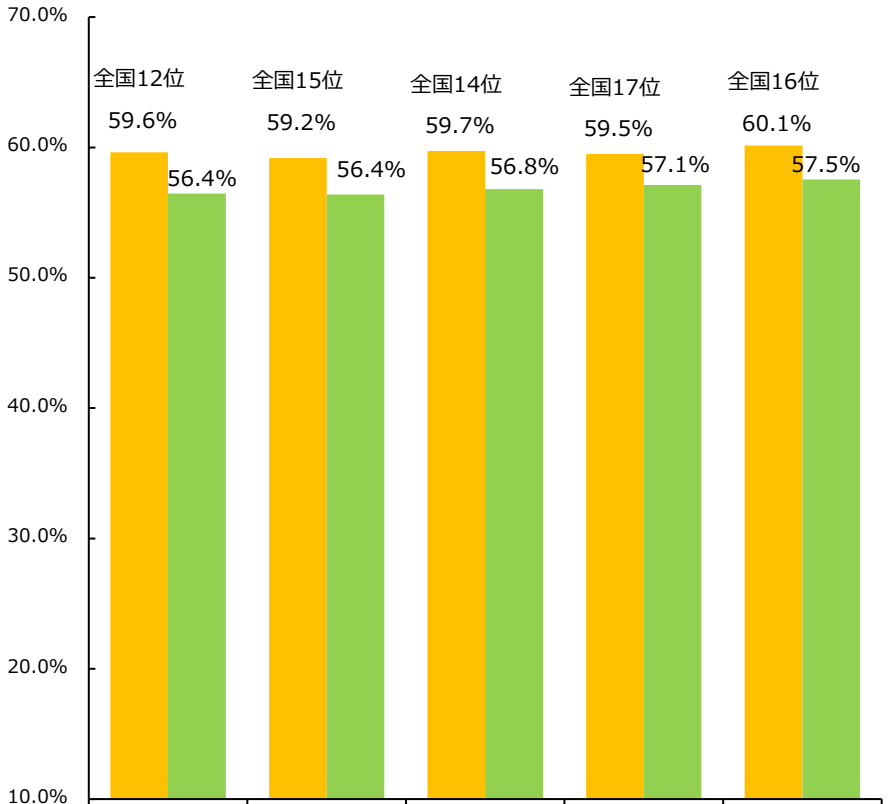
診療種別計（入院、入院外、歯科）

疾病大分類名	一人当たり医療費（山口支部）(A)	順位	山口支部構成割合	一人当たり医療費（全国）(B)	山口と全国の差 (A)-(B)
02新生物（➢がん、白血病など）	28,547	12	13.1%	27,153	1,393
30歯科	24,280	9	11.2%	23,641	639
09循環器系の疾患（➢心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	24,013	26	11.0%	24,010	3
10呼吸器系の疾患（➢かぜ、肺炎、喘息など）	21,503	10	9.9%	21,056	447
04内分泌、栄養及び代謝疾患（➢甲状腺障害、糖尿病、脂質異常症など）	15,523	29	7.1%	15,463	60
13筋骨格系及び結合組織の疾患（➢腰痛、脊椎障害、関節症など）	15,133	13	7.0%	14,406	726
11消化器系の疾患（➢肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	13,051	8	6.0%	12,267	784
14腎尿路生殖器系の疾患（➢腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	10,792	26	5.0%	10,874	-82
12皮膚及び皮下組織の疾患（➢皮膚炎、湿疹など）	8,943	9	4.1%	8,582	361
05精神及び行動の障害（➢精神疾患全般）	8,844	9	4.1%	7,904	940
06神経系の疾患（➢アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	8,708	6	4.0%	7,434	1,274
19損傷、中毒及びその他の外因の影響（➢骨折、損傷など）	7,830	16	3.6%	7,416	414
07眼及び付属器の疾患（➢白内障、結膜炎など）	6,474	24	3.0%	6,558	-84
01感染症及び寄生虫症（➢ウイルス疾患、結核など）	4,471	31	2.1%	4,837	-366
18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,582	1	1.6%	2,934	648
03血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（➢貧血、免疫障害など）	3,136	25	1.4%	3,007	129
15妊娠、分娩及び産じょく（➢帝王切開、流産など）	2,493	12	1.1%	2,251	242
16周産期に発生した病態（➢妊娠、胎児発育障害など）	2,418	5	1.1%	2,107	312
17先天奇形、変形及び染色体異常（➢心臓先天奇形、染色体異常など）	2,364	32	1.1%	2,474	-109
22特殊目的用（➢新型コロナなど）	2,253	1	1.0%	1,628	624
08耳及び乳様突起の疾患（➢メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,878	7	0.9%	1,671	207
99不明	1,441	11	0.7%	1,285	156
総計	217,679	7	100.0%	208,959	8,720

血圧リスク保有率の経年変化

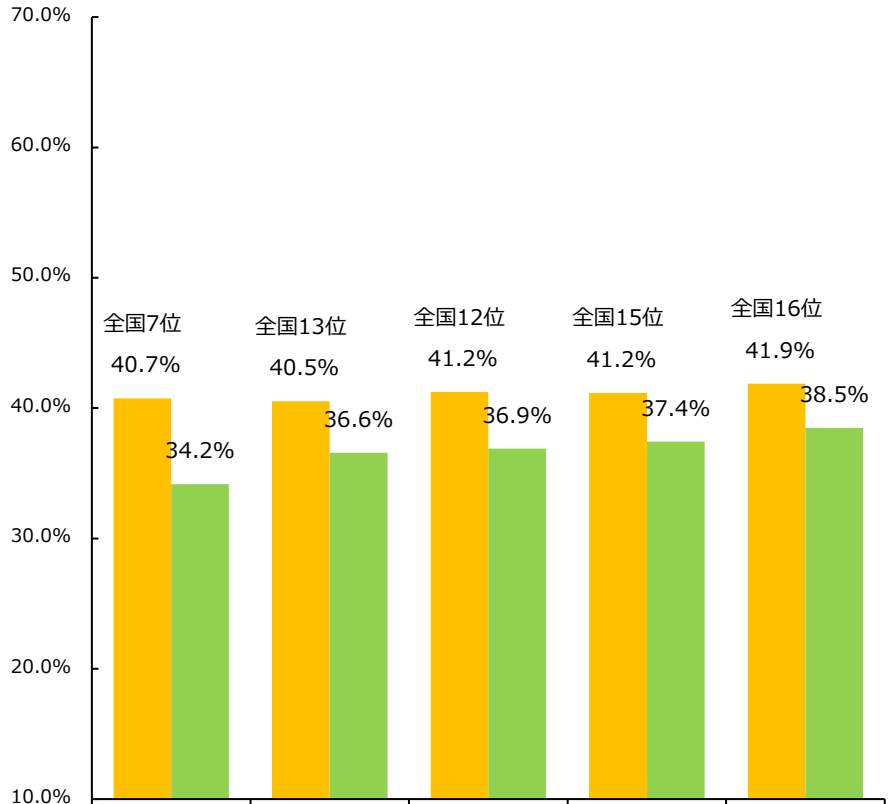
○ 経年的にみると、**男女ともに全国より高く、緩やか上昇**している。

男性



	R02	R03	R04	R05	R06
山口	59.6%	59.2%	59.7%	59.5%	60.1%
全国	56.4%	56.4%	56.8%	57.1%	57.5%

女性



	R02	R03	R04	R05	R06
山口	40.7%	40.5%	41.2%	41.2%	41.9%
全国	34.2%	36.6%	36.9%	37.4%	38.5%

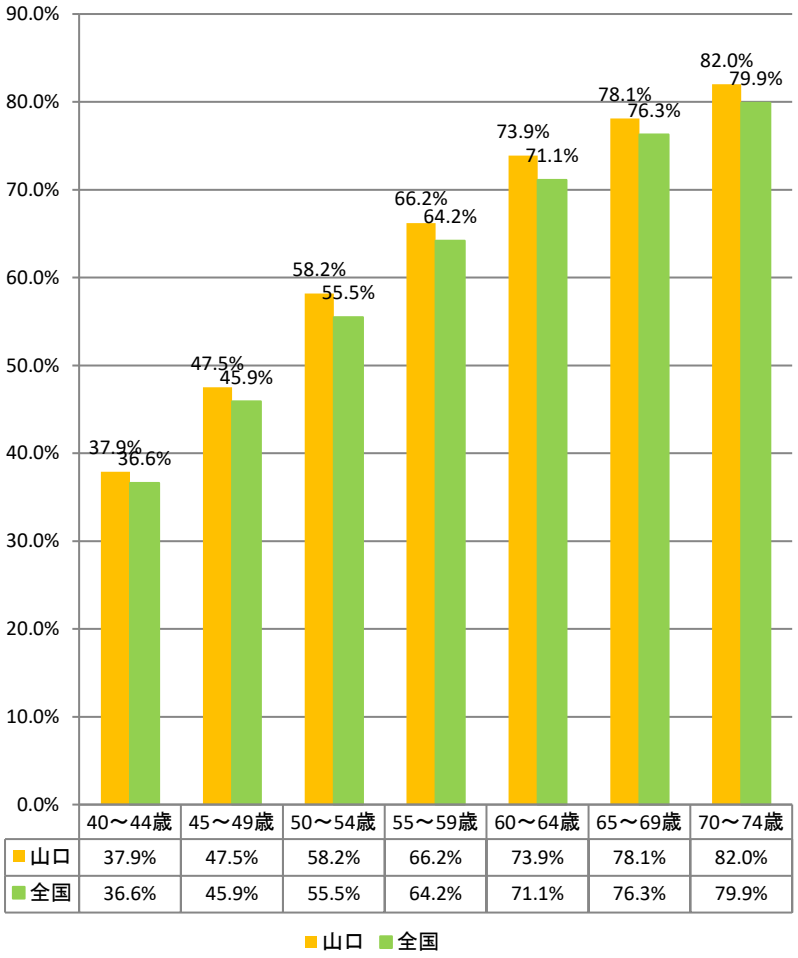
※特定健診・特定保健指導データ分析報告の「書血圧高値（≧130/85mmHgまたは服薬）」より集計。
※順位はリスク保有率が高い順。

協会けんぽ

血圧リスク保有率の年齢階級別全国比較（令和６年度）

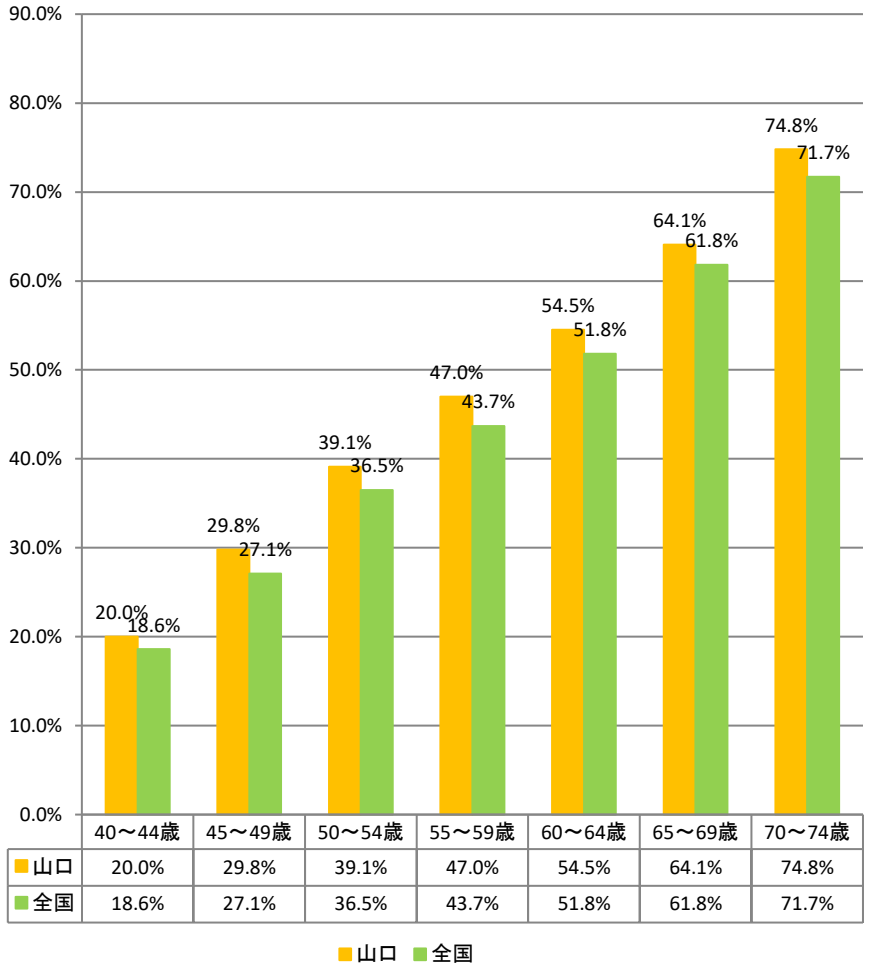
○ 年齢階級別にみると、**男女とも全国平均よりも高い。**

男性



	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
山口	37.9%	47.5%	58.2%	66.2%	73.9%	78.1%	82.0%
全国	36.6%	45.9%	55.5%	64.2%	71.1%	76.3%	79.9%

女性



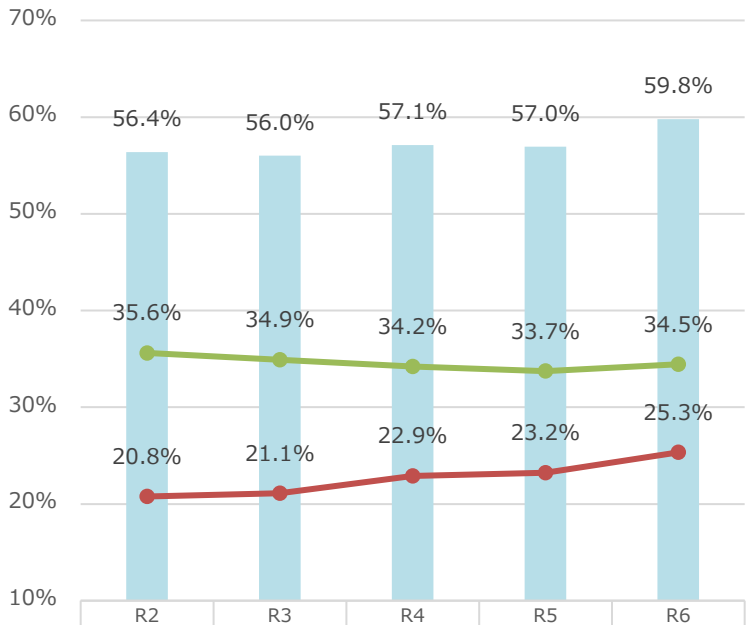
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
山口	20.0%	29.8%	39.1%	47.0%	54.5%	64.1%	74.8%
全国	18.6%	27.1%	36.5%	43.7%	51.8%	61.8%	71.7%

協会けんぽ

血圧リスク保有率の服薬有無における経年比較（令和６年度）

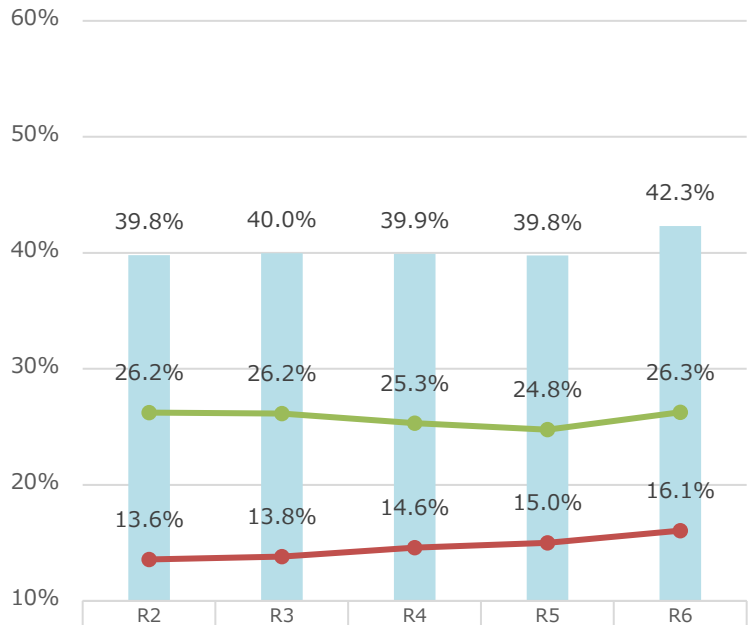
○ リスク保有率は緩やかに上昇しており、リスク保有者のうち、**服薬ありの方が上昇**している。

男性



	R2	R3	R4	R5	R6
血圧リスク保有率	56.4%	56.0%	57.1%	57.0%	59.8%
服薬あり率	20.8%	21.1%	22.9%	23.2%	25.3%
服薬なし率	35.6%	34.9%	34.2%	33.7%	34.5%

女性



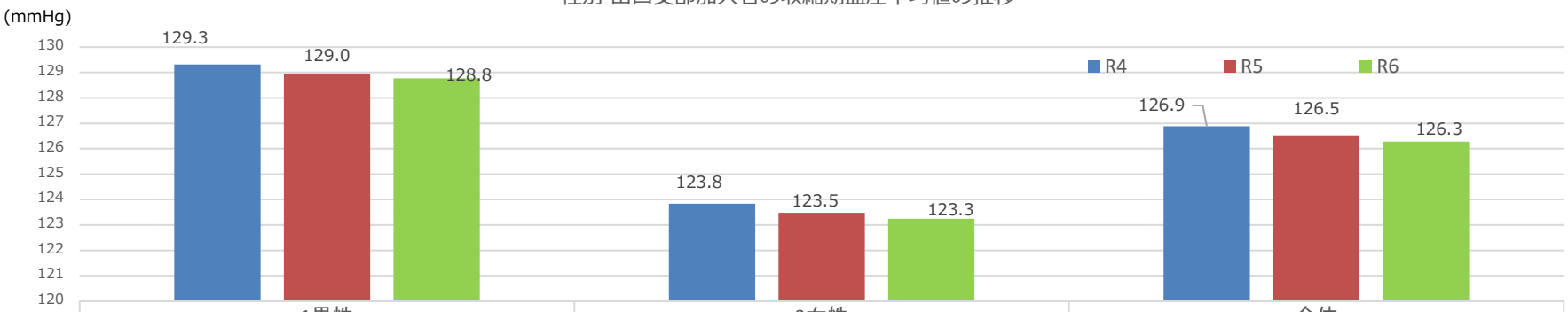
	R2	R3	R4	R5	R6
血圧リスク保有率	39.8%	40.0%	39.9%	39.8%	42.3%
服薬あり率	13.6%	13.8%	14.6%	15.0%	16.1%
服薬なし率	26.2%	26.2%	25.3%	24.8%	26.3%

協会けんぽ

年齢階級別 収縮期血圧平均値（令和６年度）

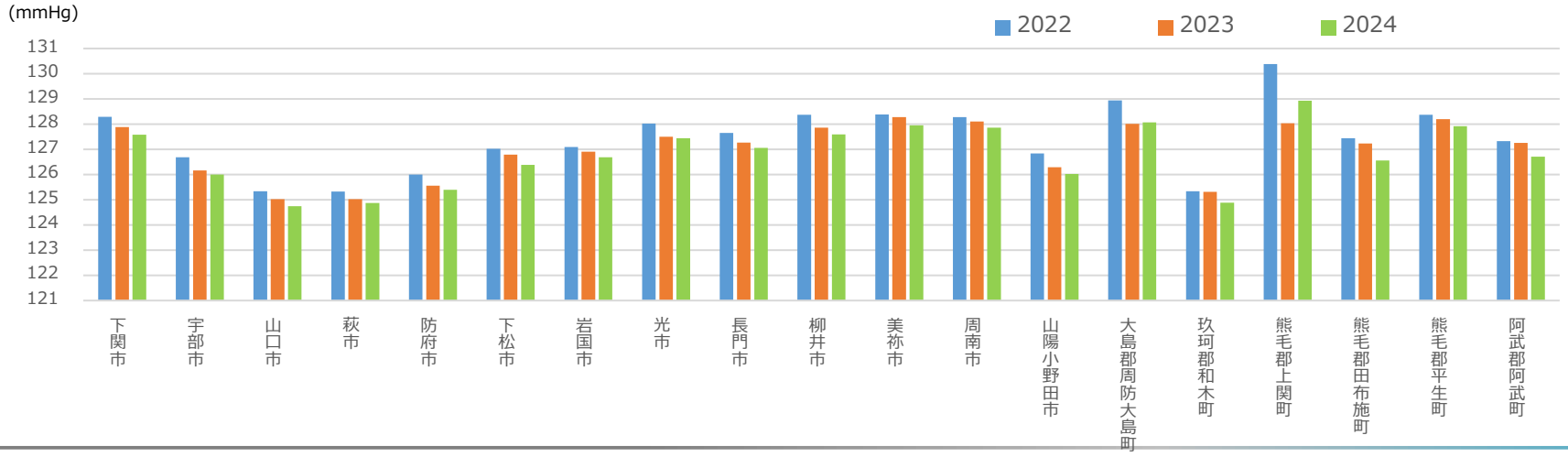
○ 男女ともに**令和4年度から血圧の平均値は減少**してきている。

性別 山口支部加入者の収縮期血圧平均値の推移



	1男性	2女性	全体
R4	129.3	123.8	126.9
R5	129.0	123.5	126.5
R6	128.8	123.3	126.3

市町別 山口加入者の収縮期血圧値平均値の推移

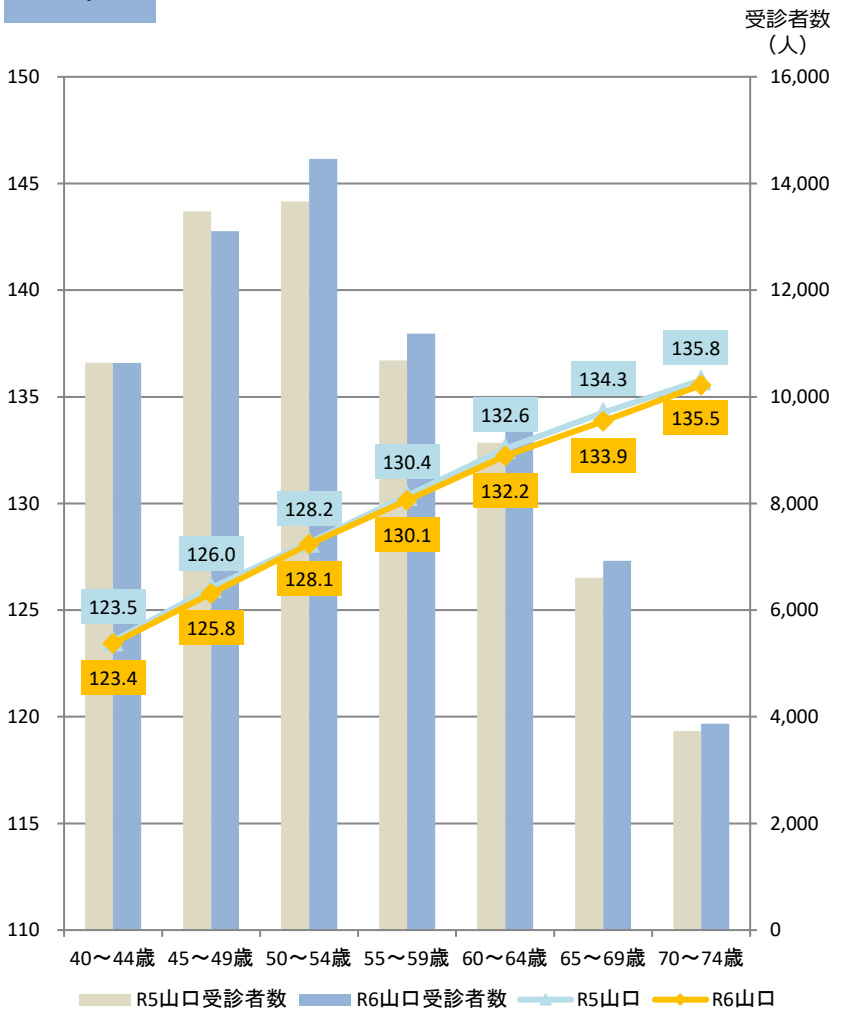


協会けんぽ

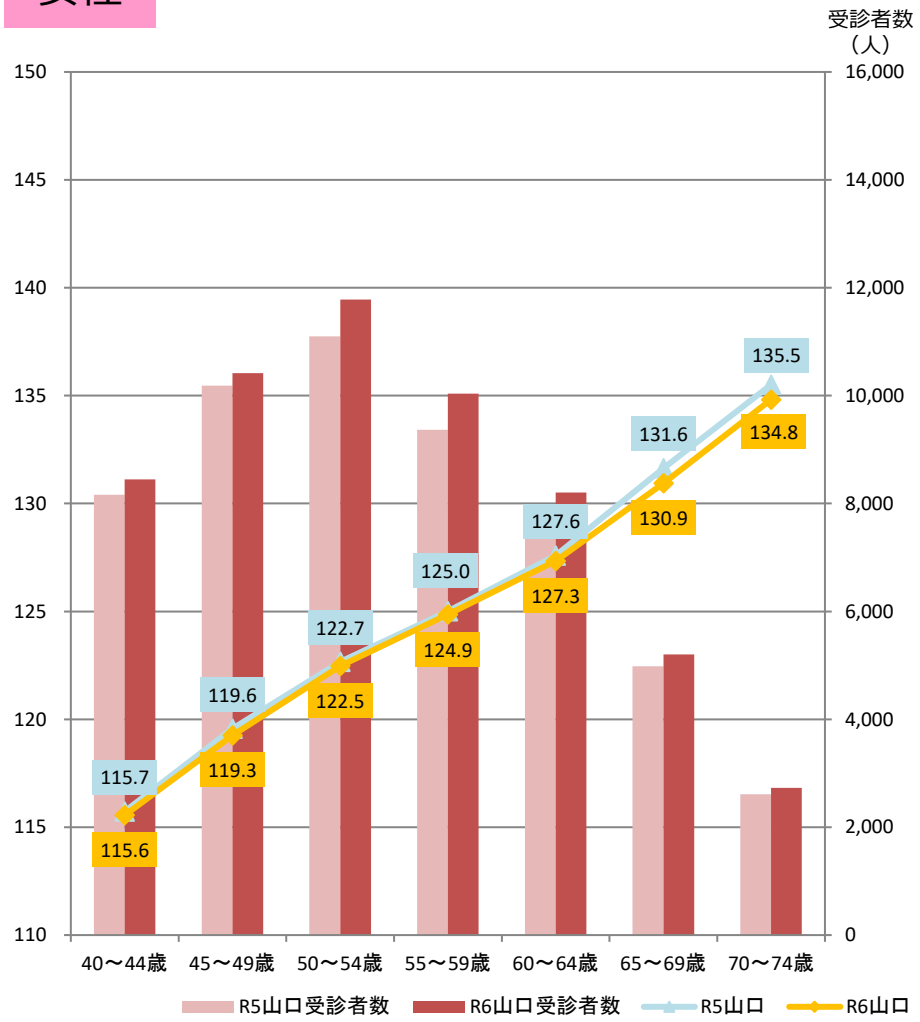
年齢階級別 収縮期血圧平均値の令和５年度との比較（令和６年度）

○ 令和５年度と令和６年度を比較すると、**概ね減少**している。

男性



女性



協会けんぽ